

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS  
International General Certificate of Secondary Education

**FIRST LANGUAGE JAPANESE**

**0507/02**

Paper 2 Reading and Directed Writing

May/June 2006

**2 hours 15 minutes**

Candidates answer on the enclosed answer booklet.  
No additional materials are required.

**READ THESE INSTRUCTIONS FIRST**

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.  
Write in dark blue or black pen.  
Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

Answer **all** questions.

At the end of the examination, fasten all your work securely together.

The number of marks is given in brackets [ ] at the end of each question or part question.

**受験生への諸注意**

解答用紙の表紙にある指示に従いなさい。

提出物全て（解答用紙、その他）に、センター番号・受験番号・氏名を記入しなさい。

解答は、解答用紙の解答欄に記入しなさい。その際、黒または濃い青色のペンを必ず使用すること。

ホッチキス（ステープラー）やペーパークリップ、蛍光ペン、のり、および修正ペンなどの使用禁止。

**受験生への補足説明**

すべての問題に答えなさい。

試験終了時には全ての提出物をまとめ、必要によっては配布されたひもなどでくくりなさい。

配点は各設問の最後にある [ ] 内に示されています。

This document consists of 7 printed pages, 1 blank page and an inserted answer booklet.



## パート1

次の【A】と【B】、二つの文章を読んで、後の問1と問2に答えなさい。

### 【A】

タイのスリン県は、首都バンコクから東へ約 250 キロのカンボジアやラオス国境に近い、人里離れた地域だ。ここに三つ目の図書館を建設するため、日本からボランティア 30 人が到着した。今年 7 月 10 日のことだ。愛知県江南市の祖父江鈴子さん(59)が代表の「尾北国際交流クラブ・タイ支援の会」がメンバーを募った。中学生や高校生、公務員もいる。全員が六泊七日の交通費 6 万円を負担した。ホームステイしながら、五日間連続で建設作業に打ち込んだ。穴を掘り、バケツリレーでコンクリートを運び、れんがを積んだ。外観ができてくると、作業は現地の人たちに引き継いだ。子供たちが瞳を輝かせて見学していた。タイを離れる最終日、リーダーだった名工大四年、三輪真裕さん(22)(愛知県清洲町)が涙をポロポロ流していたのを祖父江さんは覚えている。帰国後、その三輪さんから手紙が届いた。

「豊かさのなかで育ってきたはずなのに、豊かさとは何かを考えさせられました。以前とは違った角度からものを見るようになり、世界が広がったような気がします。(中略)自分たちは、本当に豊かなのか、いったい何に無駄にお金を費やしているのだろう、といった疑問が次々と浮かんできます。貧しい人のために図書館を作る、ボランティアをするんだ、などと以前は思っていました、本当に救われたのは自分たちの心の方だったのではと思います。(中略)うれしくて涙が出るなんて経験は、なかなかできるものではないと思います。」スリン県での体験が、三輪さんをひとまわり大きくした。

会の活動を通じ、祖父江さんはまた一つ大切なものを得たような気がした。スチュワードレスとして世界を飛び回り、小中学校の教諭を 14 年間勤めた。1989 年に夫の機械メーカー役員、宏光さん(61)の赴任先だったドイツで、不要品を売った収益金をロシアやポーランドに贈る活動を体験した。これをきっかけに、故マザー・テレサが建てたインドの施設で給食サービスをし、インドネシアでマングローブの植林に参加するなど、各国を飛び回ってボランティア活動にのめり込んだ。

8 年前には民間活動団体(NGO)の活動に参加、初めてスリン県に渡って小学校を建設した。これが縁で図書館建設を要請され、1998 年夏、募金で資材を買い、ボランティアを募って現地に乗っ込んだ。「お金を出すだけじゃだめ。体を使うことに意味がある」と、できる限りの工事をし、仕上げは引き継ぐことにした。2 年後に二館目、今年には三館目の図書館工事に出向き、完成すると募金で本を贈呈した。「愛の反対は憎しみではなく、無関心である」というマザー・テレサの言葉を胸に刻んでいる。

「関心を持てば、どんどんやることが見つかる。やればまた関心がわいてくる」。この考えが祖父江さんを突き動かしているのだという。「何ごとにも無関心な若者が多い今こそ、体験する場、関心を持てる場を与えてあげたい。」三つ目の図書館は 11 月に完成する。祖父江さんは募金の 10 万円でバンコクでたくさん本を買い込み、図書館を訪問するのを楽しみにしている。[八木 さゆり 記者]

Adapted from: <http://chubu.yomiuri.co.jp/shiawase/back/letter020921.html>

## [B]

二つ折りにした一枚の手紙が中沢恵さんの目の前にずっと差し出された。照れながら手渡したSさんは、何か言いたそうに少し口元を動かした。はっきりとした言葉は聞こえなかったが、その動きから「読んで」と読み取れた。

「中ざわさんはいつもすぐすいませんとあやまります。このまえ、一しょにバレーボールをしたときも、ぼくたちがへんなほうこうへボールをとばして、中ざわさんがすべりこんでとれなかったとき、すいませんと言います。ぼくたちがわるいのに、中ざわさんがあやまると、ぼくたちはわるいことをしている気ぶんになります。そんなにあやまらないでください。ぼくたちのほうがあやまらなきゃいけないと思います。中ざわさんがワークスにきてくれて本当にありがとう。(中略) むりをせずワークスあおいのみんなのために、がんばってください。これからもよろしくおねがいします。」

愛知県岡崎市の精神障害者の小規模作業所「ワークスあおい」の施設長の中沢恵さん(26)は、1月7日の出来事を忘れることができない。ワークスは1998年4月にオープンした。Sさん(50)は創立当初からいるメンバーの一人だった。一人静かに仕事をこなし、人とはあまり口をきかない。どちらかといえば、「気むずかしいおじさん」だった。突然の手紙は、そのSさんからだった。感謝の言葉がつづられていた。目頭が熱くなった。「みんな繊細な心の持ち主。偏見や差別、いじめを受けて傷つく。率直に心を開いてもらって、うれしかった」。Sさんに「気持ちがこもっていい文章。ありがとう」と、感謝の言葉が自然と出た。

中沢さんは中学、高校時代のボランティア体験をきっかけに、日本福祉大に進学した。来春には卒業という年の暮れ、ワークスあおいの施設長募集を見た。三日後に精神保健福祉士の国家試験を控えていたにもかかわらず、面接試験を受けた。「与えられたことだけに向き合うサラリーマンはできない。人と人との接点がある仕事がしたかった。小さな施設で、それも最初からかかわれるのが魅力だった」と話す。応募者は一人、即決採用だった。

施設は、名鉄東岡崎駅近くの車庫の二階にあった。四畳半二間と台所兼六畳間、それにトイレ。会員5人が作業に就くといっばいで、休養室もなかった。翌年に移転したものの3年契約で立ち退きを迫られ、今年3月に現在地を見つけて落ち着いた。この間、会員は徐々に増えて、22歳から60歳までの21人に。作業や生活面の指導から、レクリエーションの計画、行政との折衝と、息つく暇がなかった。「家には寝に帰るだけ」という生活だ。

対人関係でストレスをためやすいメンバーの緊張をほぐし、働きやすい環境にするよう心がけてきた。メンバーからは、元気をもらった。Sさんの手紙は大きな自信になった。「これまでやってきたことが間違っていなかった。良かった」と、しみじみ思った。傷つけまいと口癖だった言葉「すいません」が、メンバーにプレッシャーを与えていたことにも気付かされた。

保育士の母親の働く姿を見て育ち、自らの意見を押しつけるのではなく、人の意見に耳を傾けることの大切さを学んだ。その姿勢を大事にしたいと思う。「日本一の作業所と言われるような施設を目指します」。法人化するという課題に向かって、中沢さんは走り続けている。[磯辺 濤資 記者]

Adapted from: <http://chubu.yomiuri.co.jp/shiawase/back/letter020824.html>

問1 【A】の祖父江鈴子さんと【B】中沢恵さんの手紙に共通するメッセージは何でしょうか。またそれに対してあなたはどのように考えますか。そのメッセージに関する二人の考え方や経験にふれながら、あなたの意見や感想を400字程度にまとめて書きなさい。

[20]

問2 【A】の祖父江鈴子さんか、【B】の中沢恵さんに宛てて、新聞記事を読んでとても感動したので、是非ボランティアとして夏休みに働きたいという内容で依頼の手紙を書きなさい。その際、ボランティアとして自分がどのように貢献できるかを述べ、説得力のある手紙を300字程度で簡潔に書きなさい。

[20]

## パート2

問 次の3-7の空欄( )に入れるのもっとも適するものを、下のア-エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

3 日本の夏は暑くて長い。もう9月だと( )毎日30度を超えている。

- |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|
| ア | いうのに  | イ | いいのに  |
| ウ | いえるのに | エ | いわずのに |

[1]

4 18才になってはじめて、社会責任( )考えるようになった。

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| ア | とも何か | イ | とが何か |
| ウ | とは何か | エ | とを何か |

[1]

5 封筒を開ける手が震える。彼女の心は期待と不安で( )ばかりだ。

- |   |        |   |       |
|---|--------|---|-------|
| ア | はちきれよう | イ | はちきれた |
| ウ | はちきれそう | エ | はちきれん |

[1]

6 仮に運転ができ( )小さな子供にこんなに大きなトラックを操れるはずがない。

- |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|
| ア | たとすれば  | イ | たとすると  |
| ウ | たととしても | エ | たととしては |

[1]

7 本当に一生懸命になったら、かつこうがどうのこうのと( )。

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| ア | 言うてはおられる  | イ | 言うてはいられない |
| ウ | 言うてはいられたい | エ | 言うてはおらない  |

[1]

問 次の8-12の空欄( )に入れるのにもっとも適するものを、下のア-エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

8 彼は素晴らしいピアノ奏者だ。彼のきめ( )演奏に心を奪われた。

- ア きれいな                      イ 美しい  
ウ こまやかな                  エ すべやかな

[1]

9 いい家ですが、三世代が暮らすにはちょっと( )なんですよ。

- ア 肩狭                              イ 手狭  
ウ 目狭                              エ 足狭

[1]

10 初めて会った瞬間から意気( )して、一晩中語り合った。

- ア 投合                              イ 等合  
ウ 統合                              エ 当合

[1]

11 都合の悪いことを聞かれたら( )を濁してその場を離れりゃいい。

- ア お水                              イ お目  
ウ お声                              エ お茶

[1]

12 隣町に大きなスーパーマーケットができたものだから、この商店街には( )お客が来なくなってしまった。

- ア さっぱり                          イ はったり  
ウ ぴったり                          エ しっかり

[1]

問 次の 13－17 の下線で示された言葉について、それぞれの類義語を書きなさい。

(例:安全－無事)

- 13 あの子は気立てが良くていつも笑顔だ。  
 14 彼は友人の力添えで会社の危機を乗り切ったらしい。  
 15 ひたむきな努力が実を結び、やがて彼は世界的なアスリートとなった。  
 16 苦しい特訓ももうすぐ終わる。もう少しの辛抱だ。  
 17 これはハイブリッドエンジンなど最新技術を搭載した車だ。

[5]

問 次の 18－22 の下線の単語の品詞名を下から選んで記号で答えなさい。

18 その 19 人 20 に 21 初めて 会った の は 日曜日 だっ 22 た。

- |       |        |      |       |
|-------|--------|------|-------|
| ア 名詞  | イ 代名詞  | ウ 動詞 | エ 連体詞 |
| オ 形容詞 | カ 形容動詞 | キ 助詞 | ク 副詞  |
| ケ 接続詞 | コ 助動詞  |      |       |

[5]

---

*Copyright Acknowledgements:*

Section A. © <http://chubu.yomiuri.co.jp/shiawase/back/letter020921.html>.

Section B. © <http://chubu.yomiuri.co.jp/shiawase/back/letter020824.html>.

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

University of Cambridge International Examinations is part of the University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is itself a department of the University of Cambridge.